

大震災後の環境・経済危機をどう乗り越えるかー 大討論！これからの日本の経済と社会



働き方ネット大阪 第14回つどい

私たち「働き方ネット大阪」は、4月8日の声明で、震災復興や原発の事故処理に関して政府・産業界に6項目の要望を行うとともに、労働者、市民の皆さんへ、いま必要な議論に関して3つの提案を行いました。今回のつどいでは、それらの提案を膨らませて、以下の4点について、大いなる討論を行いたいと思います。

1. 戦後の民主化に匹敵する重大問題

このたびの惨禍の大きさから考えると、救援と復興の取り組みを進めながら、これからの日本の経済社会のあり方について、敗戦直後の日本社会の民主的改革に向けた議論に匹敵する規模で討論を巻き起こすことが求められています。

2. 環境・経済危機を同時に乗り越えることは可能か

原発は温暖化防止に役立つので地球環境に優しいという論理は最悪のかたちで破綻しました。今は、エネルギーにとどまらず、資源・生産・消費・廃棄のすべての面で、エコロジーへの負荷を考慮し、環境危機と経済危機を同時に乗り越える社会システムへ転換することが求められています。

3. 働きすぎをなくし、消費生活を見直す生活様式への転換は可能か

震災は現代生活から失われた人々の絆やつながりを取り戻す重要性を教えてくれました。そのためには、働きすぎをなくして、人々が家族と地域にもっと参加できる生活様式を実現することが求められています。

4. 大阪府の産業・経済と行財政のあり方はこれでよいか

今回の惨禍は、大企業依存の開発行政と広域合併による地方自治の空洞化に警鐘を鳴らすものとなりました。そこで、今回のつどいでは、大阪府の産業経済と行財政のあり方についても討論したいと思います。

多くの方々のご参加をお待ちしています。



■日時

2011年 **6月15日(水)**
18:30~20:45

■場所

エル・おおさか 709号室



パネリストと演題

森岡孝二氏（関西大学教授・企業社会論）

「働きすぎをなくして複合危機を乗り越える」

藤永のぶよ氏（おおさか市民ネットワーク代表）

「脱原発！ アメリカ型浪費社会を考え直す」

中山徹氏（奈良女子大学教授・都市計画）

「新たな大阪の都市像を展望する」

会場参加者を交えた討論

司会：**岩城稔**（弁護士）

資料代：500円